

雄武中だより

【重点目標】夢や目標をもち、新たな学びに向かう力を高める生徒の育成

学校HP <https://oumu.schoolweb.ne.jp/O120012> →



11月号

令和 7年11月28日(金)

発行：雄武町立雄武中学校

電話：(0158)-84-2529

感動と笑顔の雄中祭が終了しました

校長 辻 正 樹

10月18日に雄中祭が無事終了しました。「Amazing Friends!～人との出会いを大切に～」のスローガンのもと、生徒たちは多くの感動と笑顔を届けてくれました。

雄中祭は、先輩方が築いてきた伝統を受け継ぐ大切な行事であることを、生徒たちは理解しています。限られた時間の中でも、先生方に頼りすぎることなく、主体的に取り組む姿が随所に見られました。

12日間という短い特別日課期間の中で、生徒たちは演劇や合唱などの発表に集中して取り組み、当日はその成果を見事に発揮しました。どの発表も、生徒同士が一つにまとまり、努力と創造性が感じられる素晴らしい出来栄で、観る人に深い感動を与えました。達成感に満ちた笑顔も多く見られました。

雄中祭の取り組みの中で、生徒たちは様々な苦労や困難に直面したことと思います。それらに正面から向き合い、乗り越えたからこそ、一人ひとりが輝き、それが学校全体の輝きとなって大きな成果を生み出したのだと思います。

生徒の発表や努力の成果を確認し、見終えたときには安堵の気持ちが込み上げてきました。生徒たちが様々な努力を重ねていたこと、当日まで不安を抱えていたことも知っていました。「努力を徒労に終わらせるわけにはいかない…」、そんな思いを胸に、発表を見守っていました。直接指導にあたってくださった先生方の思いは、いかばかりだったでしょう。最も安堵されたのは、先生方だったかもしれません。

雄中祭というイベントは、仲間との関わりや困難に打ち勝つ心など、社会で生きていく上で必要な大切な学びの機会になっていることは間違いありません。生徒の成長や変容が大いに期待される行事であるだけに、その成果を実感し、喜びを感じています。

さて、この大きな行事を終え、それぞれの学年の役割も変化していきます。これからは、自分自身と向き合う場面が増えていくことでしょう。雄中祭で得た達成感や自己有用感を、今後の学校生活に生かし、力強く、たくましく、様々な活動に取り組んでほしいと願っています。

ご多用の中、多くの保護者や地域の皆様にご声援をいただきました。皆様の温かい拍手を受けて、子どもたちは練習以上の力を発揮できたのではないかと思います。今後とも、子どもたちの活躍にご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



3年生の合唱の様子